



開催趣旨

今日、行き過ぎた経済のグローバル化によって社会の毀損と分断化が進行し、格差・貧困の拡大と社会的排除が広がっています。日本社会の超少子・高齢化が進行する中、国の政治は経済成長を優先し国家主義的な動きを強め、市民生活にとって重要性の高い、介護をはじめ、医療、生活保護、子ども・子育て支援等の社会保障制度は、軒並み財源不足を理由に縮小し、抑制の方向が打ち出されています。それ故、国や自治体は、地域包括ケアや住民主体による介護予防・日常生活支援総合事業等の政策を掲げ、市民相互の支え合いに対する期待が否応なく高まっています。

私たち協同組合やNPO、ワーカーズ組織等による「非営利・協同」セクターは、互助・共助と連帯の理念に基づき、市民生活と地域に根ざした人びとが支え合う社会づくりに向けて、その核となる活動とネットワークを広げ、いきいきとした市民社会の実現をめざし取り組みを進めてきました。神奈川においても「居場所・たまり場」づくりの活動をはじめ、子ども食堂、生活困窮者の自立を支える多種多様な活動、チャリティショップ運営など、多世代・多分野にわたる数多くの市民の自主的な活動とネットワークづくりが地域で活発に行われています。

こうしたなか、私たち「非営利・協同」セクターは、厳しさを増す市民生活を維持する上で欠くことのできない切実な問題の解決をめざし、活発化する市民活動の一翼を担うと同時にグループや組織間の連携を通じて、人々のネットワーク、信頼やたすけあいによる市民活動—ソーシャルキャピタル（*）を創出してきました。今後、地域社会で増え続けるであろう多様で複雑化した個別のニーズに向き合い、社会の持続可能性を高めていくには、市民社会にある人的・物的資源とそのネットワークをさらに広げることが、今日の主要な課題となっています。

現在、地域社会では制度や活動領域を超えた、自由でしなやかな市民活動や市民事業が各地に広がり、市民の参加による共に生きる社会づくりが展開されています。「人」を中心に、市民生活と地域社会の困難な課題に向き合う、「非営利・協同」による活発な事業活動の展開と連携をめざし、「研究フォーラム2017」では、多様なソーシャルキャピタルの創出とネットワーク形成の実践に着目し、先進的な活動事例を学び共有化を進めます。

*ソーシャルキャピタルとは、社会関係資本のこと。集団の内部もしくは集団間で、協力を促進するような共有された規範、価値、信頼をともなったネットワークをいう。これまでの開発がGDPや経済的側面の成長に偏りをみせて展開されていたことに対し、人間の福利（生活の質）の向上を活動の共通の目的としている。



フォーラムへの参加申込欄 締め切り 11月15日

Fax (045-222-8721) またはメール (sanka@systemken.org) にてお申込みください。

託児（無料）あり。託児申込み締め切りは11月10日

※生後6ヵ月から未就学児の子どもさんをお預かりします。

お名前		保育	()人 ()才
所属			
ご連絡先			

*受付確認は特にお送りいたしません。当日会場においでください。